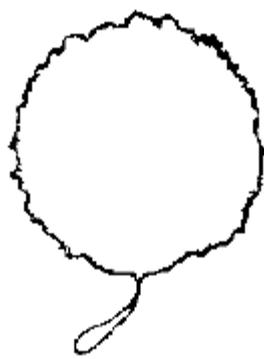


 **ながさきピース文化祭2025**

わたぼうしコンサート

みんな同じ空の下に生きている



ながさきピース文化祭 2025 わたぼうしコンサート

開催日 令和7年10月5日(日)

会場 長崎市民会館文化ホール(長崎市魚の町)

「作曲の部」作品募集

「ながさきピース文化祭 2025 わたぼうしコンサート」

「作詩の部」入選詩7編への曲を県内から広く募集します！

文化をみんなに

 **ながさきピース文化祭2025**

第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭

令和7年9月14日(日)→11月30日(日)

ながさきピース文化祭 2025 は、
第40回国民文化祭、
第25回全国障害者芸術・文化祭の
統一名称(愛称)です。

ながさきピース文化祭 2025 わたぼうしコンサート 「作曲の部」作品募集！！

◆募集内容

作詩の部入選詩7編にメロディーをつけてお送りください。
7編のうち何編を作曲されるかは自由です。但し、1編の詩について1曲として下さい。
作品は未発表のものに限ります。

◆応募資格

長崎県在住の方で、音楽好きな人ならどなたでも結構です。

◆応募方法

- (1) 『ながさきピース文化祭 2025 わたぼうしコンサート 「作曲の部」応募用紙』に必要事項を記入してください。
- (2) CDまたはカセットテープに歌を録音して、楽譜又はコードを示した用紙を添付してください。(全曲を一つに録音しても、1曲ずつ分けられても構いません。) 伴奏および楽譜のみの応募は受け付けません。
- (3) 現住所・氏名を封筒に明記し、(1)と(2)を同封のうえ郵送してください。
歌を録音したデータをMP3形式にして、応募用紙と楽譜又はコードを添えてメールでも応募できます。

◆選考及び発表

7月中旬に選考会を行い入選曲を決定します。応募者全員に結果通知をお送りします。

◆注意事項

- (1) 応募用紙に記入された内容及び応募作品については、関係団体と共有いたします。
- (2) 歌唱の都合上、詩、曲とも補作することがあります。あらかじめご了承ください。
- (3) すべての応募作品に関する権利は主催者に帰属します。コンサート当日までは発表を控えてください。以後の発表については、事務局まで事前にお問い合わせください。
- (4) 発表曲に選ばれた場合、作曲者及びそのグループでコンサート当日に演奏していただきますようご協力をお願いします。なお、強制するものではありません。演奏の可否については、応募用紙内の回答欄にチェックをお願いします。
- (5) アレンジや演奏形態については、入選者のご相談のうえ決定していきたいと考えています。
- (6) 入選者の氏名等については、リーフレット等に掲載しますのでご了承ください。

◆募集期限

2025年7月10日(木)まで(必着)

◆応募先、問い合わせ先

わたぼうしコンサート実行委員会
〒851-0126 長崎市芒塚町81 吉田光浩方
電話 080-1382-2849
FAX 095-832-0838
メール watanaga@watanaga.com

ながさきピース文化祭 2025 わたぼうしコンサート
「作曲の部」応募用紙

受付番号※	※受付番号は事務局で記入しますので、記入しないでください。 下表の太線で囲んだ箇所を記入してください。			
作 品	A 生きていくんだ B 人生のハードル C 大切なのは言葉 D 作業服 好き E まほうの みみ F 心に白い紫陽花（あじさい）を G になりたい			
※応募する作品に○をつけて下さい。				
ふりがな				
作曲者氏名				
生年月日	西暦	年	月	日 歳
住 所	〒			
電 話				
メー ル				
プロフィール ・ メッセージ	(作品に込めた思いなど)			
選考の結果、発表曲として決定した場合、 令和7年10月5日長崎市民会館文化ホールのコンサートで演奏できますか。 <input type="checkbox"/> 演奏できる <input type="checkbox"/> 演奏できない ()				

※募集期限：2025年7月10日（木）必着

ながさきピース文化祭 2025 わたぼうしコンサート
「作詩の部」 入選作品

作品名 A	生きていくんだ
作詩者	蒲原 千春
<p>両手では抱えきれないほどの 悲しい日々の連続だけど それでも 生きているんだ たとえ画面の向こうで否定されても 関係ないよね そんなこと 私の人生なんだから 明日も明後日も未来まで 生きていくんだ 私の人生</p> <p>両手でも数えきれないほどの 悔しい日々の連続だけど けれども 生きていくんだ たとえ見知らぬ誰かに批判されても 問題ないよね そんなこと 私の人生なんだから 明日も明後日も未来まで 生きていくんだ 私の人生</p>	

ながさきピース文化祭 2025 わたぼうしコンサート
「作詩の部」 入選作品

作品名 B	人生のハードル
作詩者	竹田 雅
<p>人生には時にハードルがあらわれる 高いもの低いもの難しいものさまざま 私にもハードルがあらわれた 言葉を伝えるというハードルだ 私は言葉に障がいがある 普通に言っても伝わらない ある時、駅までの道のりを言葉で聞いてみた やはり伝わらない 紙に書いて聞いてみた すると伝わったみたいで行き方まで紙に書いてくれました 私は、うれしかった 相手も、うれしかったようで笑顔で去っていきました まだまだハードルはあらわれるだろう 時には越えられなくて逃げてしまいそうになるけど 向こう側に待っている人たちがいるから 何回も挑むことができる またハードルがあらわれた 絶対に越えてみせる いくぞ</p>	

ながさきピース文化祭 2025 わたぼうしコンサート
「作詩の部」 入選作品

作品名 C	大切なのは言葉
作詩者	永瀬 絢菜
<p>今私には大切に思っている人がいる その人はいつも身近にいて私を支えて くれる人で これからの私の人生で一番関わる人だろう</p> <p>今日も明日も何気ない毎日で 一番近くにいる人 友達 家族が人生の中で 一番大切な存在だと私は思う 身近な人達だからこそ大切な事はいつも 言葉では言えない</p> <p>いつも支えてくれてありがとう この言葉を毎日伝えるのは照れくさいから 何気ない毎日でのごめんありがとう を大切にしよう そしてたまにでもいいから感謝の言葉を 忘れずに伝えよう 身近な人だからこそ言葉で伝えないとね</p>	

ながさきピース文化祭 2025 わたぼうしコンサート
「作詩の部」 入選作品

作品名 D	作業服 好き
作詩者	濱本 拓海
<p>ぼくは高校二年生。 作業服は自分で着がえる だって、先生が仕事しなさいと言うもん 帽子、手袋もします 外に出たら畑へいきます 豆を作ってるけど 豆はあまり好きじゃないんだ お花を作りたいかったなあ チューリップを植えたかったなあ 豆ができたら 先生が下さるので たのしみだ お母さんは豆が好きだもん</p>	

ながさきピース文化祭 2025 わたぼうしコンサート
「作詩の部」 入選作品

作品名 E	まほうの みみ
作詩者	林田 惟翔
<p>ねえまま ねえまま ぼくのみみは すてき ぼくの まほう きこえるよ ねえまま ぼくのこえ きこえる？ すーぷに ごはん ねえ ごはん ままのこえ だいすきだよ やさしい あったかい ねえまま ままのこえ あったかい ままのこえ だいすき</p> <p>まほうの みみだよ ありがとう</p>	

ながさきピース文化祭 2025 わたぼうしコンサート

「作詩の部」 入選作品

作品名 F	心に白い紫陽花（あじさい）を
作詩者	廣山 美香
<p>もしも 喜びも 悲しみも 気持ちの全てを受けとめられたなら きっと君はなれるよ 一番のみかたに 思いっきり笑った日々も 涙の溢れた日々だって 嫌わないでいてね どんな瞬間が訪れても その全てが君なんだ まるごと全部 君なんだから</p> <p>君の 強い心も 弱い心も 自分の心を受けいれられたなら きっと君は贈るでしょう 最大のエールを 思いきって踏み出した一歩が 頼りない一歩だったとしても 信じていてね 君の踏みしめた その一歩が 君の力 希望となってくれるから</p> <p>美しき日々 それは ゴールばかりじゃないさ 君が まるごと全てを受けとめ進む日々 その一歩一歩にあるの</p> <p>さあ！ 踏み出し 踏みしめよう 希望も不安も まるごと全部 受けとめて 君の歩みを信じて 未来へ 前へ 前へ</p>	

ながさきピース文化祭 2025 わたぼうしコンサート
「作詩の部」 入選作品

作品名 G	なりたい
作詩者	三浦 怜果
<p>なりたい私 まわりをひまわりのように笑顔に出来る人になりたい 花火のようにたくさんの人を楽しませることが出来る人になりたい まわりを幸せに出来るようになりたい 太陽みたいに明るい人になりたい 挑戦を止めない人になりたい オリンピック選手のように前向きで努力出来る人になりたい 誰からも愛される人になりたい 冒険家のように夢を持てる人になりたい 心豊かな人になりたい</p> <p>そんな素敵な私になりたい</p>	